

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書	
2024 年 5月 21日	
栃木県知事 福田 富一 様	
提出者 住 所 栃木県小山市城北4丁目38番地1 氏 名 東京鋼鐵株式会社 本社・小山工場 常務取締役工場長 富田 賢二 電話番号 0285-22-1335	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	東京鋼鐵株式会社 本社・小山工場
事業場の所在地	栃木県小山市城北4丁目38番地1
計画期間	2024年4月1日～2025年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	製鋼・圧延業[2221]
② 事業の規模	年商238億円
③ 従業員数	217人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙1の通り

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図) 別紙2の通り			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
① 現状	【前年度（2023年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙3の通り	
	排出量	別紙3の通り t	t
	(これまでに実施した取組) 別紙4の通り		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙3の通り	
	排出量	別紙3の通り t	t
	(今後実施する予定の取組) 別紙4の通り		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 別紙4の通り		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 別紙4の通り		

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（ 2023年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙3の通り	
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	別紙3の通り t	t
	(これまでに実施した取組) 別紙4の通り		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙3の通り	
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	別紙3の通り t	t
	(今後実施する予定の取組) 別紙4の通り		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（ 2023 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙3の通り	
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	別紙3の通り t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	別紙3の通り t	t
	(これまでに実施した取組) 別紙4の通り		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙3の通り	
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	別紙3の通り t	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	別紙3の通り t	t
	(今後実施する予定の取組) 別紙4の通り		

(第4面)

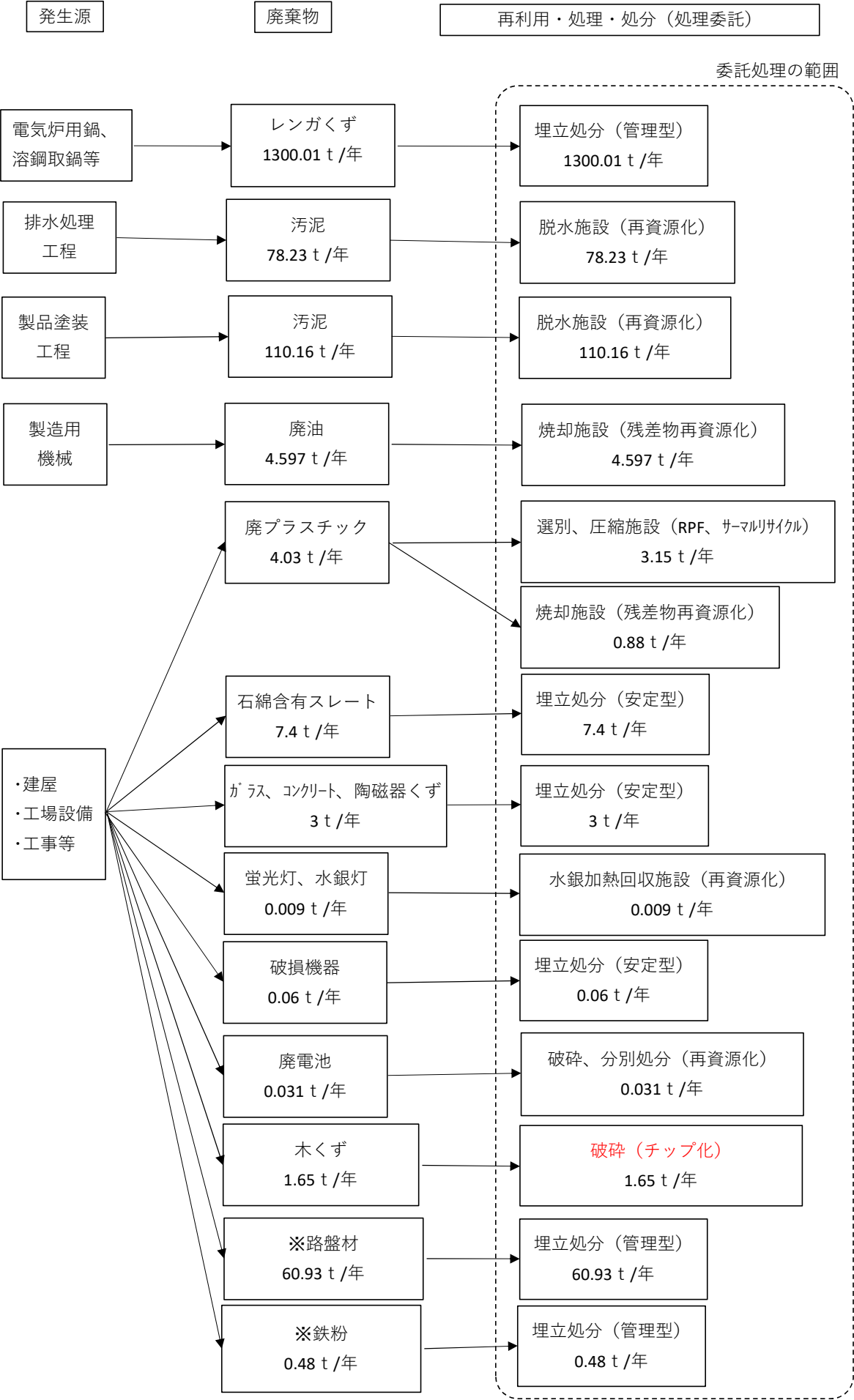
自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度（ 2023 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙3の通り	
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	別紙3の通り t	t
	(これまでに実施した取組) 別紙4の通り		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙3の通り	
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	別紙3の通り t	t
	(今後実施する予定の取組) 別紙4の通り		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（ 2023 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙3の通り	
	全 処 理 委 託 量	別紙3の通り t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	別紙3の通り t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	別紙3の通り t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	別紙3の通り t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	別紙3の通り t	t
	(これまでに実施した取組) 別紙4の通り		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙３の通り	
	全 処 理 委 託 量	別紙３の通り t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	別紙３の通り t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	別紙３の通り t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	別紙３の通り t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	別紙３の通り t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	別紙４の通り		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

別紙 1 廃棄物処理フロー図（現状）



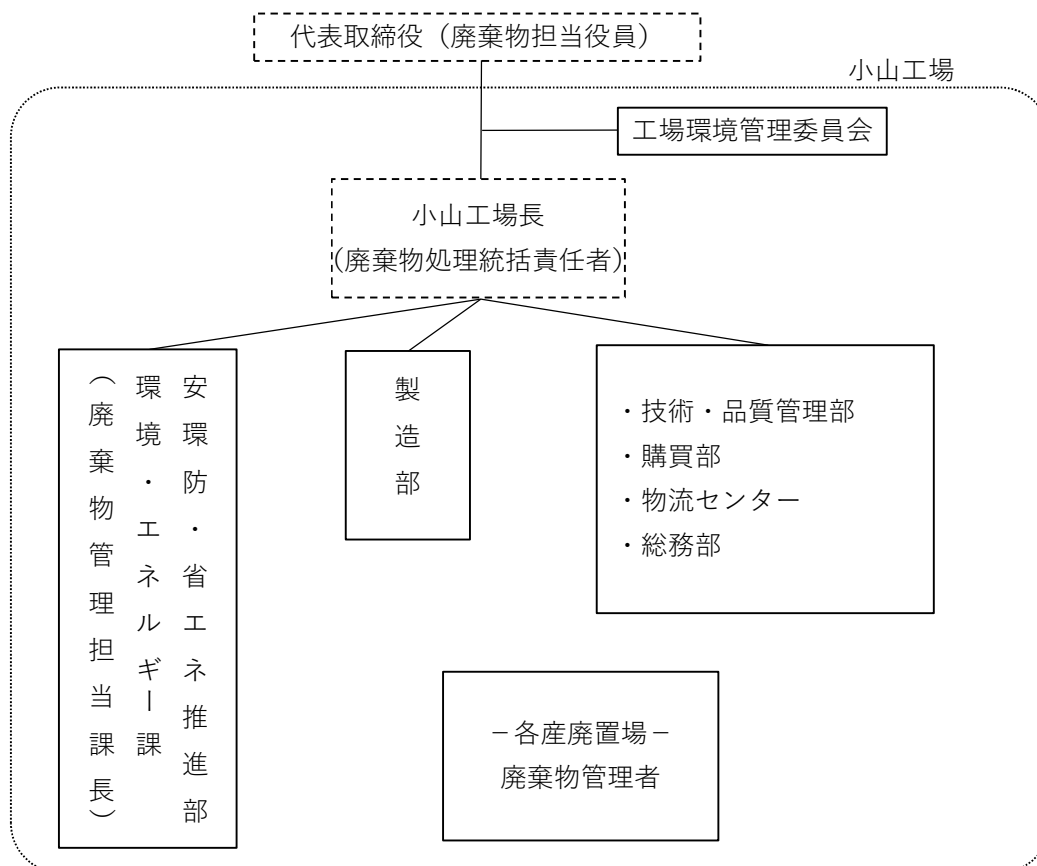
※不定期的に発生した廃棄物

委託処理量合計 1570.5872 t

別紙2 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

統括責任者		所属：小山工場 職名：工場長
廃棄物担当		組織名：環境エネルギー課 職名 課長 組織人数：1名
役割	工場環境 管理委員会	○ 廃棄物処理に関する検討 廃棄物発生抑制、再生利用中間処理適宜処理の推進、計画的な廃棄物の管理運営を行う上で必要な事項を検討する。 ・委員長－工場長 ・委員－関連部署課長 ・事務局－環境エネルギー課
	廃棄物処理 統括責任者	○ 廃棄物処理計画の策定 ○ 工場の廃棄物管理規定の策定・改廃 ○ 廃棄物処理に関する各種事項の決定、承認
	廃棄物管理 担当課長	○ 廃棄物処理計画の作成 ○ 廃棄物管理状況の把握と改善策の検討 ○ 委託契約の締結 ○ 産業廃棄物及び特別管理廃棄物管理票の交付・管理 ○ 処理業者、再生利用業者の調査、選定及び管理 ○ 監督官庁への各種報告 ○ 社員関連会社に対する教育 ○ その他関係する事項

廃棄物管理組織



別紙3 2023年度実績及び2024年度目標値

排出・処理の区分 廃棄物の種類及び 実績、目標の別	ガラスくず、コンクリートくず及び 陶磁器くず（鉱さい*）		がれき類		汚泥		金属くず		廃油		廃プラスチック類		木くず		合計	
	実績[t] (2023年度)	目標[t] (2024年度)	実績[t] (2023年度)	目標[t] (2024年度)	実績[t] (2023年度)	目標[t] (2024年度)	実績[t] (2023年度)	目標[t] (2024年度)	実績[t] (2023年度)	目標[t] (2024年度)	実績[t] (2023年度)	目標[t] (2024年度)	実績[t] (2023年度)	目標[t] (2024年度)	実績[t] (2023年度)	目標[t] (2024年度)
排出量	51.419	51.419	1319.93	1319.93	188.421	188.421	0.54	0.54	4.5972	4.5972	4.03	4.03	1.65	1.65	1570.5872	1570.5872
自己再生利用量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
自己熱回収量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
自己中間処理減量化量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
自己埋立処分又は海洋投入処分	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
全処理委託量	51.419	51.419	1319.93	1319.93	188.421	188.421	0.54	0.54	4.5972	4.5972	4.03	4.03	1.65	1.65	1570.5872	1570.5872
優良認定処理業者 への処理委託量	3.009	3.009	1072.72	1072.72	188.421	188.421	0.06	0.06	4.5972	4.5972	4.03	4.03	1.65	1.65	1274.4872	1274.4872
再生利用業者 への処理委託量	3.009	3.009	0	0	188.421	188.421	0.06	0.06	4.5972	4.5972	4.03	4.03	1.65	1.65	201.7672	201.7672
認定熱回収業者 への処理委託量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	0	0	0	0	188.397	188.397	0	0	4.5972	4.5972	0.88	0.88	0	0	193.8742	193.8742

* レンガくず等に少量付着したもの

< 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項 >

	これまでに実施した取組	今後実施する予定の取組
ガラスくず、コンクリートくず及び 陶磁器くず陶磁器くず	耐久性の高いレンガを検討し、 産廃排出量削減を目指す	廃レンガ排出量低減の条件を検討する
がれき類	同上	同上
汚泥	－	－
金属くず	可能な限りの分別により、産廃 化せず有価物化（再資源化）	可能な限りの分別により、産廃 化せず有価物化（再資源化）
廃油	同上	同上
廃プラスチック類	－	－
木くず	－	－

< 産業廃棄物の分別に関する事項 >

	これまでに実施した取組	今後実施する予定の取組
ガラスくず、コンクリートくず及び 陶磁器くず陶磁器くず	－	－
がれき類	－	－
汚泥	－	－
金属くず	可能な限り種類ごとに分別	可能な限り種類ごとに分別
廃油	再生可能油（有価売却油）を可 能な限り産廃油と混合しない	再生可能油（有価売却油）を可 能な限り産廃油と混合しない
廃プラスチック類	－	－
木くず	－	－

< 自ら行う産業廃棄物の再生に関する事項 >

	これまでに実施した取組	今後実施する予定の取組
ガラスくず、コンクリートくず及び 陶磁器くず陶磁器くず	－	－
がれき類	－	－
汚泥	－	－
金属くず	－	－
廃油	－	－
廃プラスチック類	－	－
木くず	－	－

< 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項 >

	これまでに実施した取組	今後実施する予定の取組
ガラスくず、コンクリートくず及び 陶磁器くず陶磁器くず	—	—
がれき類	—	—
汚泥	—	—
金属くず	—	—
廃油	—	—
廃プラスチック類	—	—
木くず	—	—

< 自ら行う埋立処分又は海洋投入処分に関する事項 >

	これまでに実施した取組	今後実施する予定の取組
ガラスくず、コンクリートくず及び 陶磁器くず陶磁器くず	—	—
がれき類	—	—
汚泥	—	—
金属くず	—	—
廃油	—	—
廃プラスチック類	—	—
木くず	—	—

< 産業廃棄物の処理委託に関する事項 >

	これまでに実施した取組	今後実施する予定の取組
ガラスくず、コンクリートくず及び 陶磁器くず陶磁器くず	優良認定未取得の処分業者から 優良認定処分業者への排出割合 の増加	優良認定未取得の処分業者から 優良認定処分業者への排出割合 の増加
がれき類	優良認定処分業者への委託量増 加、及びより環境負荷の小さい 処分会社への委託量増加	優良認定処分業者への委託量増 加、及びより環境負荷の小さい 処分会社への委託量増加
汚泥	全量優良認定処理業者へ委託	全量優良認定処理業者へ委託
金属くず	可能な限り、資源再生利用を行 う業者へ処理委託	可能な限り、資源再生利用を行 う業者へ処理委託
廃油	全量優良認定処理業者へ委託	全量優良認定処理業者へ委託
廃プラスチック類	可能な限り、資源再利用を行う 業者へ処理委託	可能な限り、資源再利用を行う 業者へ処理委託
木くず	全量優良認定処理業者へ委託	全量優良認定処理業者へ委託